

## 議 事 録

|  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| 1. 会議の名称   | 池田市文化財保護審議会   |  |   |
| 2. 開催日時  | 平成27年1月30日(金)<br>午後2時15分～午後3時55分  |  |   |
| 3. 開催場所  | 池田市中央公民館 2階 会議室A  |  |   |
| 4. 出席者   | <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">           〈委員〉<br/>           室田卓雄会長<br/>           橘高和明委員<br/>           仙海義之委員<br/>           吉田高子委員<br/>           吉原忠雄委員         </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">           〈事務局職員〉<br/>           村田教育長<br/>           阪本教育部部長<br/>           松森教育部次長<br/>           田上生涯学習推進課課長<br/>           中西副主幹<br/>           細谷副主幹         </td> </tr> </table> | 〈委員〉<br>室田卓雄会長<br>橘高和明委員<br>仙海義之委員<br>吉田高子委員<br>吉原忠雄委員 | 〈事務局職員〉<br>村田教育長<br>阪本教育部部長<br>松森教育部次長<br>田上生涯学習推進課課長<br>中西副主幹<br>細谷副主幹 |
| 〈委員〉<br>室田卓雄会長<br>橘高和明委員<br>仙海義之委員<br>吉田高子委員<br>吉原忠雄委員 | 〈事務局職員〉<br>村田教育長<br>阪本教育部部長<br>松森教育部次長<br>田上生涯学習推進課課長<br>中西副主幹<br>細谷副主幹   |  |   |
| 5. 欠席者   | 印藤和寛副会長 清基英昭委員  |  |   |
| 6. 議題  | (1) 正副会長の選任<br>(2) 平成26年度文化財保護事業計画及び状況<br>(3) 平成27年度文化財保護事業計画<br>(4) 池田五月山の愛宕火(がんがら火)上映   |  |   |
| 7. 議事経過  | 別紙のとおり  |  |   |
| 8. 開・非公開の別<br>※非公開の理由                                  | 公開  |  |   |
| 9. 傍聴者数  | 0名  |  |   |

## 開 会

### (1) 正副会長の選任

### (2) 平成26年度文化財保護事業計画及び状況

**事務局** 今年度、八坂神社の「二十四孝透塀欄間」、逸翁美術館の与謝蕪村筆「奥の細道図」保存修理を継続して実施している。また、池田城跡ほかで住宅建設などに伴う発掘調査や、昭和初期の写真の提供を受けて複写撮影をしたほか、自性院の天然記念物カイズカイブキを剪定した。10月から歴史民俗資料館で『モダニズムの記憶』と題した特別展を開催。11月には二子塚古墳・一乗院・池田城跡公園・大広寺のコースで文化財公開展を開催。1月現在、池田茶臼山古墳の説明板を取り替えている。ほか、例年どおり、国指定文化財を有する久安寺・八坂神社・逸翁美術館に対し、防災設備への管理費の補助を予定。

**委員** 池田城跡などでの試掘の内容は？

**事務局** 池田城跡入り口のマンション建設に伴う調査では、現状の堀に続く堀を検出、主郭への入り口部には深い堀がいくつか取り囲むようにつくられていたことが分かった。池田城跡以外の場所での試掘は、あまり出土物はなかった。

**委員** 写真やビデオなど、多くが処分されている。写真も貴重な文化財であり歴史民俗資料館と連携するなどして、出来るだけ残していくように取り組んで欲しい。

**事務局** 広報で呼びかけたり都度調査しているが、もう少し積極的に考えたい。

### (3) 平成27年度文化財保護事業計画

**事務局** 次年度は、引き続き、八坂神社「二十四孝透塀欄間」、逸翁美術館「奥の細道図」の保存修理を行う。いずれも修理の最終年となる。ほか、池田茶臼山古墳の保護を図るための測量などの調査、自性院のカイズカイブキの説明板の取り替え、地蔵マップの作成などを予定している。また、例年の文化財公開展だが、事前にコース説明などの講座を試行したいと考えている。

**委員** 与謝蕪村筆「奥の細道図」だが、修理が完成した暁には展観して、地域の文化財として地元還元する機会があればと思う。

**委員** 池田市の近代の和風・洋風住宅は、近隣でも先駆けて建てられているが、次々に無くなっている。悉皆調査が必要ではないか。個人宅なので内部調査は難しいと思うが、せめて外観などの現状や場所を抑えることができれば良い。近代は時代的に近すぎて、貴重な文化財としてあまり認識されていない。

**委員** 昨年歴史民俗資料館での『モダニズムの記憶』展も、大変盛況だったようだ。近代建築のファンが多いというものもあるかも知れないが、皆さんが今住んでいる地域の成り立ちを実感できる機会を求めているのではないか。

**事務局** 教育委員会でも数件は調べているが、悉皆調査はしていない。個人宅の調査はなかなか難しい。室町でも、明治の建築のうち、2件ほど登録を試みたがダメだった。歴史民俗資料館とスクラムを組んで集中的な調査をしていきたい。

#### (4) 「池田五月山の愛宕火（がんがら火）」上映

**事務局** 「池田五月山愛宕火（がんがら火）記録作成実行委員会」をつくり、文化庁の補助を受け、平成24年に城山町、25年に建石町を2ヵ年で撮影。祭事だけでなく、準備なども重点をおいて撮影した。作成した映像は関係者のほか、公民館や図書館、学校にも配布し、幅広く利用できるようにした。いずれインターネットでの公開なども考えている。

**会長** 一般の方の入手は可能か？

**事務局** 貸出して各自でコピーして対応してもらおう。国庫補助を受けているので、有料配布は想定していない。

**委員** 池田文庫でも池田に関連する民俗芸能の記録があるので活用できる。

**会長** 指定を受けていない祭礼行事もたくさんあるので、ぜひそれらも映像などで記録を残していただきたい。

閉 会